

当院の人間ドックオプション検査における乳がん検診の内容変更について

当院でのオプションの乳がん検診の内容はこれまで

- ① 医師による乳房の視触診
- ② マンモグラフィ検査
- ③ 乳腺超音波検査

をワンセットにした内容で行ってまいりました。

しかしながら平成27年9月「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書～乳がん検診および胃がん検診の検診項目について～」において乳がん検診における視触診検診の必要性は薄れており、精度管理の観点からも視触診検診のみの乳がん検診は推奨しない、との報告がなされ自治体健診においては視触診のみの乳がん検診は行わない方向となっています。今後人間ドックでの乳がん検診は「問診およびマンモグラフィ」を原則とする方式にならない「問診、マンモグラフィ、乳腺超音波検査」の内容へ変更いたします。

視触診については日常の健康管理の一環としての自己触診を原則とし、しこりを触れるなどの自覚症状を認める場合は検診の対象ではなく保険診療の場、すなわち乳腺外科を受診することが原則となります。

何か心配な自覚症状や自己触診でこれまでに無い感触のものが触れる

→乳腺外科外来を受診する(ただし当院外来受診を希望される場合は診療情報提供書が必要です)

自己触診で変化なく、心配な自覚症状もない

→検診でマンモグラフィ、乳腺超音波検査を受ける

以上検診内容をご理解の上、ご利用くださいますようお願い申し上げます。